

令和元年度にかほ市議会報告会（一般向け）

総括

（令和2年3月）

目次

開催概要・次第	…2-3
議会報告	…4-6
ワークショップの記録	…7-17
講師指導	…7-10
発表・成果	…11-15
講評・まとめ	…16-17
委員長あいさつ	…17
アンケート	…18-20

令和元年度にかほ市議会報告会（一般向け） 開催概要

- 1.期日 令和2年1月21日（火）
- 2.時間 18：00～20：30
- 3.会場 金浦公民館 研修室
- 4.参加 議会議員 17人（1人欠）
市民 34人（旅館業、小売業等へのチラシ配布、一般公募）
計 51名 8テーブル
講師（江藤俊昭氏）、事務局職員 4人
- 5.開催目的
 - ・にかほ市議会基本条例第10条に定める議会報告会の開催。
 - ・市民と議会が共同作業で地域課題とその解決策を探る。→政策提案へ活用
 - ・市民、団体の要望を吸い上げる。→政策提案へ活用
 - ・議会の働き・役目を知ってもらう。垣根を低くする。→市政・議会への関心
- 6.特記事項
 - ・ワークショップ式（1テーブル6～7人程度）の継続
 - ・議会報告は資料配布と議会だより（時間の活用のため）
 - ・茶菓、BGMなどリラックスできる雰囲気づくり
 - ・成果（アンケート、各テーブルの発表、まとめなど）は議会政策検討会議の検討項目とする。
 - ・成果やその後の検討結果は、議会だよりへ掲載、市長等への報告を行う。
- 7.次第は次ページ

令和元年度にかほ市議会報告会（一般向け）

～あなたの声をにかほ市の明日につなげよう～

令和2年1月21日（火）

18：00～20：30

金浦公民館 研修室

次 第

開会 議長あいさつ		18：00
(1)ワークショップ		18：05～19：30
進行・指導：江藤俊昭氏（山梨学院大学教授）		
作業1.にかほのいい所、悪いところ（自己紹介を兼ねて）		
個別テーマ		
A 中心街の活性化		
B 中山間地域の活性化		
例1) 文化施設を創ろう！		
例2) 移住・定住を促進しよう！		
例3) 観光で賑わいを創ろう！		
4) その他		
作業2.問題・課題・原因を探る「どこに問題があるのか？」「原因は何か？」		
作業3.解決の方向を探る「どうすれば解決できるか？」		
作業4.「にかほをよくする提言！」		
(2)発表	各テーブル代表	19：30～19：45
(3)講評・まとめ	江藤俊昭氏	19：45～20：25
広報広聴委員長あいさつ		
閉会		20：30
アンケート回収		

終了 20：45

「地方議会の仕組みとにかほ市議会の1年」

R02.01.21

にかほ市議会報告会 報告資料

地方議会のしくみ

地方議会の役割…

にかほ市の意思を決定するのが「議会」（議事機関）

市長等の行政執行を監視するのも「議会」

↓

決定事項を執行するのが市長等（執行機関）

にかほ市は、地方自治法に基づく普通地方公共団体で、市の組織は、市の意思を決定する「議事機関」である市議会と、その決定した事項を執行する「執行機関」である市長等からなっています。地方自治の制度は、首長（市長）と地方議会（市議会議員）という2種類の代表を住民（市民）が直接選挙で選ぶ二元代表制という仕組みになっています。これに対し国の政治は、国民が国会の議員を選び、国会が国会議員の中から内閣総理大臣を指名する議院内閣制と呼ばれる仕組みです。

私たちが住んでいるにかほ市を住みよいまちにするためには、道路、上下水道などの生活環境を整備したり、医療、福祉、教育などの公的サービスを充実させたりする必要があります。そのために財源や実施体制、ルールづくりといった様々な課題を解決する必要があります。課題を解決するためには、住む人々が集まり、話し合うことが大切ですが、現実的に市民全員が集まって話し合うことは大変困難です。そのため市長と市議会議員を選挙で選び、その人たちが市民に代わって住みよいまちにしていくための方策や課題を話し合っています。その話し合いを行う機関が「市議会」です。

市議会は、市政の重要な事柄、にかほ市の意思を決定するところです。例えば、条例の制定や改廃、予算を定めること、決算を認定することなどです。議会が意思を決定することを議決といいます。議会は議決権のほかに、検査権、監査請求権、調査権、意見書提出権など、法律に定められた様々な権限を有しています。

にかほ市議会では、市の意思を決定する本会議をはじめ、さまざまな会議が開かれます。議会活動である会議は、法律に定められている本会議や委員会などがあり、本会議には、**定例会**と必要な場合に招集される**臨時会**があります。定例会は、毎年3月、6月、9月及び12月の年4回と定められています。必要があるときは、前月に繰り上げ、または翌月に繰り下げることができます。

その他、議案の審査や議会の運営に関する協議又は調整の場として、議員全員協議会、正副議長・正副委員長会議、議会改革推進会議などが目的に応じて設置されています。これらの会議は、議員18人全員で行うもの、何人かに分かれて行うものなどさまざまな会議があります。

議員は、これらの会議に出席するばかりでなく、会議に出席する前提として行う**政策研究、政策立案をするための活動**も行っています。**市民の要望、各種相談に応じる活動**も議員の大切な仕事です。

にかほ市議会は、

●**行政を監視・チェックする機能**（従来型）

●**政策提言・立案する機能**

●**議会への積極的な市民参加を図る機能**

を向上させて、市民の負託に応える議会を目指しています。

参考：会津若松市議会ホームページ

にかほ市議会の1年（平成31年1月～令和元年12月）

本会議

議 会 名	期 間	議 案 等 件 数
3月定例会	2月22日～3月20日	議案42件、陳情6件、議提3件 (当初予算、補正予算、条例ほか)
臨 時 会	5月16日	議案11件 (補正予算、契約締結、財産処分ほか)
6月定例会	6月13日～26日	議案16件、陳情7件、議提3件 (補正予算、条例ほか)
9月定例会	9月5日～26日	議案23件、陳情2件、議提3件 (決算認定、補正予算、条例ほか)
12月定例会	11月28日～12月13日	議案27件、陳情7件、議提6件 (補正予算、条例ほか)

※詳しくは定例会後の議会だより（2、5、8、11月発行）をご覧ください。

議会改革の取り組み			
			秋田県にかほ市議会 令和1年11月30日
年度	出来事	組織設置等	項目
平成17年度	仁賀保町、金浦町、象潟町 合併 にかほ市誕生		在任特例47名
平成18年度	にかほ市議会議員選挙		定数24名
平成20年度		議会活性化等協議会	H20.9.24～H22.3.31 議会基本条例、会派制、市民交流会ほか
平成21年度	会派制施行		(制定H21.3.5)
平成22年度	にかほ市議会議員選挙		定数20名(改正H20.3.24)
平成23年度	議会基本条例施行		(制定H23.9.22)
	第1回議会報告会開催		(H24.1) 以降、毎年度開催
平成25年度	政務活動費条例施行		(制定H25.3.22)
平成28年度		議会改革等協議会	H28.6.22～H29.3.17 改革の取り組みの総括、議会基本条例の検証ほか
平成29年度		議会改革推進会議	(制定H29.3.17) 定数検証ほか
平成30年度	にかほ市議会議員選挙		定数18名(改正H29.12.26)
令和元年度		議会政策検討会議	(制定R1.6.26) 外部有識者、市民、議会による政策形成

報酬額、定数の変遷

			秋田県にかほ市議会 令和1年11月30日
年度	定数	報酬額 上段:議長 中段:副議長 下段:議員	備考
平成17年度	24名 ※在任特例47名	274千円 234千円 220千円	
平成18年度	24名		改選H18.4
平成20年度	20名 ※24名	343千円 303千円 289千円	定数施行はH22.4 改正H20.3.24定数、報酬とも
		274千円 234千円 220千円	改正H20.12.19
平成22年度	20名		改選H22.4
平成27年度		304千円 264千円 250千円	
平成29年度	18名		定数施行はH30.4

ワークショップの記録

講師指導

●江藤俊昭氏

今日は市民と議会と一緒に協働で地域の課題を探っていくのが1つの大きな課題です。もう1つ議会が市民の声を生かして吸収していくという視点を明確にしていることです。同時に、議会の役割を市民とともに再確認していくという考えを持っています。

ご存じのように、にかほ市議会では、議会基本条例という議会や議員の動き方を明確にした条例を制定し、市民との意見交換会をやるとしっかりと明記しています。そうした中でこの3つの課題をやることによって、政策提言や監視に活かしていこう、議会のことを知ってもらおうということが、今日の大事な課題になってくると思います。市民から意見をもらうことも大事ですが、議員としてそれを如何に政策提言に活かしていくかということがすごく大事です。皆の話を聞いて終わりではなくて、それをどのように活かしていくかを、ぜひ考えていただきたいと思います。

本日のテーマは、「あなたの声をにかほ市の明日（みらい）につなげよう」。どこの自治体でも、厳しい財政状況、人口減少と課題がいろいろあります。問題や課題があるのは重々わかりますが、それを踏まえながら未来について語っていこうということです。ポイントは議論に議論を重ねるということです。リラックスして議論しようということでお菓子を食べながら、これはお菓子が減っていったらいい会議なんですね。リラックスするために音楽もかけています。

今こちらの市議会は、いろんなところで注目されています。皆さんからすると「どのレベルで注目されているの？」と思うかもしれませんが、去年は3月に今日のような一般向け、7月には将来を担う若い人たちと議論したいと中高生とワークショップ形式の議会報告会をやっています。その内容を掲載した議会だよりに「情報発信してほしい」「市民の移動手段を考えてほしい」など市民の声が載っていますが、これを踏まえて政策に活かしていこうと、今議会で議論して、3月をめどに議会から政策提言するようです。

今日、高校生の方がいらっしゃいますが、そのとき参加した人ですか。

- 高校生の参加者 出ていません。
- 江藤俊昭氏 このときの話聞いて、自分も意見を言ってみたいなと思って来てくれたんですか。
- 高校生の参加者 にかほ市の未来を話すのであれば、自分たちも参加しなければと思って来ました。(発言後、拍手あり)
- 江藤俊昭氏 私、感動してしまいました。

中高生との報告会では「若者が集まる場所が少ない」「空き家を活用した何かをやりたい」とか、いろいろな提言・問題が出たようです。にかほ市議会が注目されているという話をしましたが、日本教育新聞に「市民からの意見を聴取し、その声を大切にしようという開かれた議会の典型である」「行政国家と言われるように、行政中心の政策形成が行われる時代に、自治体議会自らが政策立案者であろうとする姿勢は大いに評価できる」

と掲載・評価されました。今までは議会がそんなに動いていないんです。ようやく分権改革とか自治体の基金状況の問題とかがあって、議会が頑張っていかなければならないとなった。それを市民と一緒に考えていくという姿勢、こういうことを開かれている議会というのかなと思います。今回はワークショップ3回目ですからバージョンを上げて、テーマを絞っていこうということのようです。

一般的に地域のいいところ・悪いところというのも大事ですが、市民の視点を持って、まちづくりを考えていこう、にかほの将来を考えていこう、と。中心市街地が空洞化しているので、「中心市街地を活性化していくためにはどうしたらいいか」を1つのテーマにします。もう1つは、市というのは中心市街地だけではありません。「中山間地域（中心市街地以外の地域）も活性化」していかなければなりません。相互が活性化しなければ駄目なんだという視点から考えていきたいということで、今日は2つのテーマ、それをセッションということで第1部、第2部にして議論しようということになります。

まちづくりと言うとハードな、建物を建てるみたいな言い方になるかもしれませんが、そうではなくもう少し広く、建物でもいいのですが、例えば観光施策をどうしたらいいか、教育をどうしたらいいか、移住・定住だけでなく関係人口とか、いろいろな議論ができると思いますので、第1部は中心市街地、第2部は中山間地域ということです。

レジュメの3枚目「市民と議会の意見交換会 ワークショップ」を見ていただきます。にかほの未来、将来について考えるのであれば、提言も少し考えていきましょう。ただ、すぐに期待以上の提言があるわけではありません。今日はそういう提言を含めて、アイデアを出すことが大事なポイントです。進め方はテーマを具体的に、中心市街地の活性化と中山間地域の活性化、ここのいいところ・悪いところだけではなくて、課題を探りながら提言を行う。提言についてはいろいろありますが、最終的にそれぞれのグループで3つくらいに絞ってもらいたい。こんな提言、こういう提案をしたらもっとよくなるのではないかと、ということを考えていただきたい。

注意事項、2つのセッション、2部構成にします。

第1部が中心街で、A自己紹介と会への期待、bいいところ・悪いところを、自己紹介を兼ねて、7~10分くらい。いいところ・悪いところを大きく捉えていただきたい。それを踏まえてc原因と解決の方向を自由に議論していただきたい。ここは大事なところなので20分。最後に10分で特に大事なところを1グループあたり3つ選ぶこと。後ほど発表してもらいます。発言者も決めること。ここでテーブルを入れ替えます。1つのグループだけでなく、いい意見はせっかくですから皆に伝えていきたいですね。そういう意味で、議員と発表者は今のテーブルに残って、他は入れ替わって第2部の中山間地域の問題に移ります。

第2部中山間地域もやり方は同じ。

私が時間ですと言って、5数えるまでにやめてください。ポストイット（付箋）の使い方は議員が承知しています。大事なものはお菓子も食べながら自由に議論することです。ただし人の話は真剣に聞くこと、言ったことに間違いだと言わないようにしてください。こういう意見もあるんだなというところから出発してもらいたいと思います。

付箋は何枚でも使っていいです。

付箋の色は黄色は最初の自己紹介、いいところ・悪いところ、

ピンクはにかほの課題、

青は解決の方法、

緑は最後にまとめた3つの提言

いいところ・悪いところはテーマを決めないでください。自己紹介を兼ねて。

それではそれぞれ始めてください。

(第1部作業1)

- 江藤俊昭氏 10分経ちました、時間です。自己紹介が盛り上がっていますが、お菓子が減っていません。

それではより具体的に課題を設定して、このグループはどんなテーマでやっていくかを議論しながら、課題、そして提言、ある程度の解決方向について議論してください。本来は分けますが、時間の関係でまとめてやります。課題だけではなくて、解決の方向、という形にしていきたいと思います。それでは20分です、始めてください。

(第1部作業2、3)

- 江藤俊昭氏 20分経ちました。第1部の課題、解決の方向について20分です。ピンクと青がかなり埋まりましたでしょうか。皆さんどうですか。時間が足りない方もいるかもしれませんが、このくらいで終わります。

次にいきます。今、課題がたくさん出てきているようで、解決の方向についてもいろいろ出ました。特に第1部、中心市街地の活性化、中心が空洞化しているという現状の中で「どんなことをすれば活性化につながっていくか」、各グループ3つの提言を出してもらいたい。とりわけ「今この問題があるから、この問題に対してはこういう提言」を、課題が1つで提言が3つあっても構いません。課題を3つ出してそれぞれの提言を出しても構いません。それぞれのグループで3つの提言を議論していただきたいと思います。緑の付箋に3つ、皆さんでまとめてください。それから、お菓子が減っていません。食べながらやってください。始めてください。

(第1部作業4)

- 江藤俊昭氏 今の提言を踏まえて、最後に発表する方を決めてください。議員の方がちょっと話しすぎなグループがあります。今日は市民の方々の声を聞く場ですから、ちょっと注意してくださいね。

それでは第1部はこれで終わりです、入れ替えをします。入れ替えは先ほど局長が言ったように替わってください。議員の方と発表者の方は残って、それ以外の方は入れ替わってください。

(議員と発表者以外は移動)

それでは新しいグループなので、自己紹介と、第1部で話したときどんな議論が出たか、どんなことを話したか、どんな感想を持ったか、こんな発見があった、と自己紹介を兼ねてやってください。議論を詰める場ではありませんので、ここは自己紹介がポイントです。3つの提言だけでなく結構です。10分でやっていきたいと思います。今

は付箋を使いません。それでは始めてください。

(第2部作業1)

- 江藤俊昭氏 時間ですのでやめてください。それでは第2部ですが、第1部は中心市街地の活性化でしたが、今度は中山間地域の活性化の議論です。課題と解決の方向を分けた方がいいのですが、時間の関係で一緒にします。中山間地域の課題と解決の方向を20分。先ほどと同じように、ピンクの付箋に課題、青の付箋に解決の方向。それでは始めてください。中山間地域と言うと特別な言い方になってしまうので、中心市街地以外と考えてください。

(第2部作業2、3)

- 江藤俊昭氏 第2部の課題、解決の方向、いろいろ出たと思います。続けて緑の付箋に3つの提言を10分でまとめて。第1部で発言する人は第2部も一緒に発言していただきます。始めてください。

(第2部作業4)

- 江藤俊昭氏 それでは時間になりました。これで第1部、第2部は終わります。今から発表していただきます。

皆さんいい顔をしていて、すごく議論したという感じがします。ただ、会場がちょっと小さかったのか、声を大きく出さないといけなくて。議論はアイデアを生むということがすごく確認できたかなと思います。発見もあったかなと思います。人の話を聞くこと、自分が発言することが楽しいなと感じていただけたと思います。

さらに確認していただきたいのは、市民はサービスを受ける対象だけではなくて、まちをつくっている主体だということです。そして、話せば共感も生まれるということも理解できたかなと思います。そういう意味では、市民の中には議員は何もやっていないと思う方もいるかもしれませんが、議員もいろいろ考えて提言している、議員も市民の声がすごいなと、それぞれが改めて確認したと思います。後ほど話をしますが、ここをただ単に発言の場ではなくて、監視能力や政策提言能力に活かしていく、そして市民の方もこれからもぜひ関心を持っていただきたいと思います。

それぞれのグループから発表してもらいます。第1グループから、1人だいたい2分くらいでお願いします。

(発表・成果)

●第1グループ

第1部 中心街の活性化

- ・駅前空洞化。暗いから明るくする。若者が住みやすい雇用条件。みんなが活動できるイベントを増やせば人も集まる。
- ・要約すると、親切丁寧な案内看板が欲しい。若者が集える、住む人が一番楽しい所。それは自分の住むまちを愛することにもつながる。

第2部 中山間地域の活性化

- ・コミュニティバスの経路・時間など。この時間帯は多いから大きいバスにするとか、今は羽後バスも手を挙げれば停まるということなので、そういうのも面白いのではないか。
- ・きれいなまちをつくるために、各地区に花があるが、それを伸ばしてフラワーロードという感じにする。
- ・松尾芭蕉や白瀬南極探検隊など、全国的に誇れるものがたくさんあるので、それを生かして。九十九島に水を張って昔の面影を復活させるとか。
- ・うちは旅館で、俳句の会を楽しみにしているお客さんがいる。俳句のポストが増えればいいなと思った。ぱっと浮かんだときに入れられるような所にポストがあればいいなと思う。要するに、自分たちが楽しく、住みやすいまちにすることから始めることかなと思う。

●第2グループ

第1部 中心街の活性化

- ・空き家の活用法
長屋風にする、作家を呼ぶ、チャレンジ店舗、コミュニティの場、憩いの場にしたらどうか。
- ・自営業の担い手の確保
外部からの受け入れ、その受け入れ体制が（行政の）窓口で打ち切るようなことが実際にあったと聞くので、そういうことがないように受け入れてはどうか。
- ・コミュニティバスが駅や病院で停まるのは当然として、逆に中心商店街を通らせてお店の前に停めるといのはどうか。

第2部 中山間地域の活性化

- ・せっかくの資源のPRを怠っているのではないか。水のブランド化とネーミングをして、商売につなげられないか。鳥海山の水という感じでいち早くやるべきではないか。
- ・グリーンツーリズムをやっているが、都会の子どもだけではなく、その集落外の子ども、市内にも周知を図って話題に上れるようにしていけばいいのではないか。その子どもたちが大人になったときに荒れた田畑をどうするか、林業の可能性とか、担い手に育てていくのではないか。
- ・旅費、電車代、宿泊代をふるさと納税の返礼品にして、まず、にかほ市に来てもらえばいいのではないか。

●第3グループ

第1部 中心街の活性化

- ・活性化=基礎人口と交流人口を一緒に増やして、まちを元気に、人がたくさん来るということに尽きる。
- ・子どもをどこからでもかき集めてきたらどうか。教育の特化、オンリーワンの教育をしたらどうか。例えば、にかほ市の幼稚園から英語教育をやって、にかほ市に住む子どもたちは中学校・高校になると、英会話ができるようになるくらいの特別な教育をする。下手に塾に何百万もかけるよりにかほ市に住んだほうが、子どもを集めて育てたほうがいいのではないかと。オンリーワンの教育をどんどん特化して子どもを集める、親も一緒についてくるので、人口が増えていくのではないかと。
- ・地元の住民・企業への支援
どうしても外からの企業誘致という形で優遇政策があるが、地元で頑張っている人たちに対してはそういった支援策がほぼない。逆に地元の企業を元気にするのであれば、地元で頑張っている人たちに対して支援するような施策をしたらどうか。そういった支援を積極的にやって、中小企業や商店を活性化してみてもどうか。
- ・教育では教育特区という話もあるので、家族を集めたらどうか。

第2部 中山間地域の活性化

- ・にかほ市の中山間地域の伝統文化は、院内・横岡等を含めて、非常にミステリアスで伝統を感じるものがあるが、実は見知られていない。これをもっと外に広めることで観光客がくるのではないかと。伝統行事を全部まとめてデータベース化して、実際にどういうことをやっているのか、地元の人も知った上で外に発信する。併せて伝統行事が人手不足の場合には、外からどんどん参加していただく。伝統行事の維持と観光を一緒にすることで、活性化できるのではないかと。
- ・同居の家庭（核家族でない家庭）には子どもが多くいる場合が多いので、山間部に住んだ子どもの生活費をタダにする。移住希望者に山間部を紹介する。空き家をリフォームして1週間単位でのお試し移住、田んぼ・畑付きをやる。そうした拠点を何か所か持ってきて呼び込む。気に入ったらそこに住んでもらう。観光兼体験ということで、やってみたらどうか。実施にあたってはビジターセンター等を誘致して、例えば上郷小学校の利活用に使ったりする。子どもが集まって、交流人口・観光人口が増えるのではないかと。

●第4グループ

第1部 中心街の活性化

- ・象潟、金浦、仁賀保と 3地域それぞれの市街地活性化、地域の特性があるわけで、行政が何だかんだ言っても始まらない。地域の個性をできるだけ伸ばしながら、発展させていくことも必要ではないかと。
- ・案内誘導板が少ない。3地域の市街地、観光案内所、観光案内板がちよっと少ない。
- ・市民に提供するというので、旧3町内それぞれに行政サービスの窓口を設置してはど

うか。一番発達している市街地に行政サービスを固有に出すことも必要ではないか。

商店街の中に行政サービス拠点を入れることも1つの案ではないか。

・町並み保存

象潟には町並みがあまりない。芭蕉が通った道、商店街、喫茶店などが必要でないか。

・コミュニティバスの活用方法

コミュニティバスの便数が非常に少ない。象潟は象潟、金浦は金浦、仁賀保は仁賀保と、横の連携が少ない。それを一緒くたにするのは1つの方法ではないか。

第2部 中山間地域の活性化

・若い人が非常に少ない、空き家も増えているという現状。原因は、職場がない、若者が働く場所がない、地方での生活に魅力を感じられない、ということが挙げられる。

若い人が活躍できる場。学生を含めて若い人たちにアンケートを取る。中山間地域における文化的なものを取り入れる。これを活性化させる。若者を呼び込む魅力的で多様な職場を作ってほしい。田舎暮らしを求めている人が多くなっているので、この人たちに情報発信をしてほしい。

・若い人の起業が流行っている。一番大切なのは起業する人を誘致すること。

●第5グループ

第1部 中心街の活性化

・課題

中心地の商店も含めて地域に元気がない。情報力が少ない。結束力が弱い。連携がなかなかされていない。(厳しいの意見が多かった)

・方向性

課題の背景には、モータリゼーションによって環境が変わっていることが、今後も変わっていかない部分ということを基に、何かをしなければならない。

・提言

1. 人がわざわざ出かけたと思わせるような工夫が必要。他にはない、店や地域の強みをしっかり把握して、外に伝えていければいいのではないか。

2. 話し合いの機会を増やす。連携をするには、地区のコミュニティで話し合いをしていかなければならない。意見のすり合わせや連携が生まれないと、どうしても元気が出てこないのではないか。

3. 地域に人を呼んだり活性化したりする場合に、突拍子もないPR、例えば大河ドラマの舞台を秋田県、にかほ市に作るとか、ディズニーランドを呼びたいといった、人が来るPRを大々的に何かやったらいいのではないか。

第2部 中山間地域の活性化

・課題

1. 就職の場が少ない。生活の基礎を築ける就職が必要ではないか。

2. 空き家の活用問題。

3. 地元の文化や歴史を活性化につなげられるのではないか。

・提言

1. 多様な働き方ができる環境整備を目指していったらどうか。いろいろな意味の解釈があると思うが、若い方がテレワークできるようにしたり、いろいろな働き方を提示するのも1つではないか。
2. 地元自治会と行政の連携をもっと強化する、情報を集めるなど。今にかほ市でやっている空き家バンクについても1つの方向性になるではないか。
3. 他に誇れるもの。グリーンツーリズム拡大、業者連携がよいのではないか。

●第6グループ

第1部 中心街の活性化

- ・にかほ市のいいところは風光明媚に尽きる。悪いところは、観光なども含めて、意外と昔からのことを直そうとしない。人の意見を聞いて、正しいことはやるべきだ。新しいものを受け入れることがあったほうがいい。
- ・活性化を考える場合、まちの中での行事が少ないのではないか。道路で盆踊りなどをしたらいいのではないか。盆踊りは道路を封鎖してやったほうがいい。
少子高齢化の中で、にかほ市民2万4千人の中で、活性化というのは難しい面もある。
他所（よそ）から人を呼んでみてはどうか。

・提言

1. 農業・漁業のよいところを、農・漁業体験などをして訴える。若い人にとっても魅力を深める。具体的にはいろいろな知恵とアイデアでやっていく形になると思う。
2. まちなかで行事を行う。
3. 農・漁業のよさを訴えて移住・定住してもらおう。若い人も含めて、リタイアした人に来てもらうこともありではないか。

第2部 中山間地域の活性化

・方向性や提案

蕎麦作り、グリーンツーリズム、フィルムコミッション。水が綺麗なので薬草、センブリ、ゲンノショウコ、ワサビ等の生産。マムシの養殖。

●第7グループ

第1部 中心街の活性化

- ・学生が勉強できる場所が少ない。遅くまで開いている場所がない。施設の開館時間を長くしたり仕様を変えたりして、例えばそこで学生さんが勉強できて、親御さんが待っている間カフェを利用できて、小さい子を預けられる託児所とか、既存施設を活用してできないか。
- ・イベントが少ない。イベントを開きたい人がどこに相談すればいいかわからないという問題がある。商店街で誰かが何かやりたいときに窓口となる所があって、そこでホテルや飲食店、いろいろな人をつなぎながら支援する窓口があればいい。

第2部 中山間地域の活性化

- ・看板や道路標識がぼろぼろ、道路脇の草がぼうぼう、道路がでこぼこ、も相談窓口がどこかわからない。行政のどこかに言っても「うちではない」と跳ねのけられてしまうところもある。窓口1つで、そこから担当につないでくれるようになればいい。
- ・情報発信が不足しているという課題。今、田舎暮らしに興味がある人はたくさんいる。その人たちに農業体験ツアーを案内したり、たくさんあるいい林道をサイクリングロードにしてフェスティバル的に案内してもいいのではないか。
- ・田畑の担い手不足、耕作放棄地や空き家がたくさんあり、担い手が不足しているという課題がある。民間の人が使えるように耕作放棄地や空き家を開放して、農業体験ツアーとかシェアハウスにしたり、牛の放牧をやってみたり、できればいいのではないか。

●第8グループ

第1部 中心街の活性化

- ・情報が入りにくい。広告が少ない。看板が少ない。看板があって営業していない店もある。それらを取り払って看板を増やすとか、ない店をカットして新しい店を入れる。若者向けに SNS を使って情報を流す。若者が見るのは新聞や広報ではなく、スマホを使ったツイッターなど。魅力はたくさんあるので、若者にフォーカスして SNS を使って、それを発信していけばいいのではないか。

第2部 中山間地域の活性化

- ・人口減少が起こると、協力者がいないので新しいことがしにくいという面もある。協力者を作るため SNS などでのいろいろなことを発信していくこと。協力者を作って中山間地域の活性化ができるのではないか。

講評・まとめ

●江藤俊昭氏 発表ありがとうございました。すぐにでもできることもあるし、まだまだ考えなければならないこともあると思います。

議員の方に責任があるのは、これをちゃんと政策に活かしていかなければならないということです。おそらく地域経営というのは、その意見をどういうふうにまとめ上げていくかどうかなんです。にかほ市には総合計画があって、地域経営の軸になっています。これがどうなっているのかを今後も考えていかなければなりません。さらにそれを大きくしなければなりません。同時に発表された提案には、今でも組織改編ですぐにできるようなものもありそうですね。それから、「企業誘致を」という方もいますが、今まで企業誘致をして、あまり来なかった、成功していない、ところが多いのです。そうでなくて地元の企業を支援したほうがいい、という従来の議論とは違う視点からの議論が出てきて、議論しながらやるのも大事かなと思っています。

個別にすべて講評できませんが、市がもっと活性化していくためには、市民の人たちが結束しなければならないのではないかと、第1グループかな、地元を愛すという美しい言葉、地域を愛することが、地元の足元を切り取って、そこに泉湧くという視点が大事ということを改めて感じました。

地域づくりというのは、よそ者、馬鹿者、若者。馬鹿者とは、従来の慣習に縛られない人という意味です。そういう意味では、今日は若い人たちも、高齢者が駄目だと言っているわけではないですよ、こういう議論できた素晴らしい場にいたなと思います。

今日の最後に私が講演するという話でしたが、まったく時間がなくなりました。

私が言いたかったのは、今日の議論を、議会は政策提言に活かさなければ駄目ですよということです。ただ聞くだけでは駄目。議会側もそう思って3月に市長側に提言するというのですが、それをやっていただきたいと思います。市民と一緒に共同作業できたということ、議会の役割も市民にちょっとは知ってもらえたかなと思います。

1つお話しして確認したいのですが、日本はずっと中央集権で来たので、どうしても行政の方が強いというイメージを持ってしまっているのですが、地域経営を勉強すると、決めているのは議会なんです。自治体のお金(予算)を決めているのは議会だし、自治体の法律である条例を決めているのは議会なんです。市長は提案するだけなんです。もちろん執行権は持っています。そういう意味で、議会がどう変わっていくかは地域経営にとっても大事だということを確認をさせていただきます。

もう1つ、国政(の国会議員)はバッジをつけると国民全体の代表で、変なことしたときに、私たちは辞めさせることができないんです。でも地方自治では住民がチェックして変だと思ったら議회를解散したり、市長を辞めさせたりすることができます。あるいは、住民が自ら条例を提案することができます。その意味で地方自治は国政と違って身近で、今日のような提言もできる。それを市民も活用しなければならないということ。今日は時間を長く取って話したかったのですが、帰れなくなるのでこれくらいで。(笑)

最後に、市民の方々、今日を起点にして継続的にぜひまた参加していただきたい。議会にも行政にも関心を持っていただいて、監視をしていただきたい。それから議会議員には、本当に政策として、具体的な提言がここまで出ていますから、自分たちからどういう提言をしていくか、委員会等で議論して、ぜひ市民に返していただきたい。繰り返しのようになりますが、聞きっぱなしでは不信感が増すだけですので、ぜひそこは注意していただきたいと思います。そういう意味で、今日、にかほ市議会は一步進んだんだと、今日はそういう日になったんだと、そういう大事な日に参加させていただいて誇りに思います。ありがとうございました。

委員長あいさつ

●広報委員長 本日は、お忙しい中、大勢お集まりいただき、ありがとうございました。時間も夕方からで予定の2時間半を超えてしまいました。これまで2回のワークショップは平日の日中で「休日開催してほしい」などのご意見もあったのですが、夜であればお仕事の後で参加していただけるのではないかと、旅館・ホテル業にはご迷惑な時間かとも思ったのですが、盛會に終わってひとまずよかったと感じております。

さて、議会広報広聴委員会は、議会だよりの編集や議会報告会などを担当しています。議会報告会のワークショップはこれで3回目、まだまだ手探り状態ですが、継続していきたいと思っています。引き続き議会からの政策形成の種にしたい、議会と市民の垣根をもっと低くしたいと考えています。今後もよろしく願いいたします。

本日皆さんから頂いた成果（提言）は、

1. 議会の政策形成に活用するもの、
2. 市長に伝達するもの、
3. 議会だよりでお伝えするもの

などに整理し、皆さんの声を市政に届けるよう努めてまいります。夏には中高生と議会報告会を行いました。今日も高校生がいらしていますが、中高生といっても侮ってられない、大人以上の考えを持っている、若い方の考え方も一つ大事だと思っております。

2月から定例会があります。ぜひ議会を傍聴していただいて、昨年からはまった議会インターネット配信もご覧いただき、叱咤激励していただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。今日はお忙しい中、本当にありがとうございました。

参加者アンケート 集計

アンケート総数27枚

参加市民34人中

問1 あなたのお住まいの地域は？

①仁賀保	11人
②金浦	4人
③象潟	10人
④その他	2人

問2 あなたの性別・所属は？

①男	17人
②女	10人

問3 今回の議会報告会をどのように感じになりましたか？

(1)時間

①ちょうど良い	20人	
②長いまたは短い	4人	長い 1人、短い 3人
③どちらともいえない	2人	
無回答	1人	

①の意見

・あっという間だった。

②の意見

長い

・1.5時間～2時間

短い

・半日（全体2時間、分科2時間）

・もう30分長く

(2)時間帯

①良い	13人
②悪い	5人
③どちらともいえない	8人
無回答	1人

②の意見

・日中

・15：00～19：00

・時間帯によって来れる層が変わる。
今回の時間帯だと主婦層は来れない。

・休日の午後から
(休日だと集まらない可能性もあるな)

・もう少し早く

問5 今回の議会報告会の評価をお尋ねします。									
①評価する	20人								
②評価しない	0人								
③どちらともいえない	6人								
無回答	1人								
問6 にかほ市の議会や行政のこと、何でもご自由に記入してください。									
・楽しい意見交換が出来ました。個人事業主への皆様の御理解お願いします。									
・ワークショップ型式とは聞いていなかった。									
・行政が強化して行くテーマ（施策）に特化した部署を作る。 特産物を売り込む→一元化した部署									
・議会の皆さんの施策立案を多く期待している。									
・活発で良い会でした。									
・市民の意見を反映させて下さい。									
・是非この提言を行政に活かして下さい。									
・図書館の充実を。図書館コミュニティの中核です。									
・市民が行政に興味を持てるような工夫が必要だと思います。 総合戦略は、各課が個別に考えるだけでなく、代表が集まって、大きな柱については話し合っ て決めてほしいと思います。 このような会は、1回あたりを少人数にしてもっとたくさん開催してほしいです。									
・この会がムダにならないよう行政が取り組んで欲しい。									
・今日出た意見・要望がどう活かされるのか知りたいと思いました。									
・市民に伝わりにくい。 タテ割りの行政が多すぎ。 おもてなしに特化した課の作成（苦情処理）									